

長野県観光の現状・課題

<現状>

県内延べ宿泊者数:約2,011万人(2024 年)
外国人延べ宿泊者数:約234 万人(2024 年)
観光消費額(全体):約1兆47 億円(2024 年)
観光消費額(外国人):約1,136 億円(2024 年)
性・年代別構成:
60代～70代の男女の割合が大きく、20代～30代の若年層や女性の割合が低い

<課題>

- 地域の観光資源を活用し、旅行者の長期滞在を促進するため、**長野県らしい観光コンテンツの充実が必要**
- 旅行者の利便性向上を通じて満足度の向上を図るため、**観光客の受入環境整備が必要**
- 長期滞在の促進や旅行者満足度の向上に貢献する、戦略的な観光地経営を推進するための**観光振興体制の充実が必要**

長野県宿泊税の活用によって目指す姿

暮らす人も訪れる人も宿泊税の効果を実感できるよう、「観光地視点」及び「旅行者視点」から観光振興に取り組み、**「世界水準の山岳高原観光地づくりの推進」**を目指す。
宿泊税の活用とあわせ、既存財源により取り組む従来からの施策も着実に推進し、相乗効果を生み出せるよう取り組む。

【観光地視点】
地域の持続可能な発展を維持し、住む人が誇れる観光地を実現する
【旅行者視点】
国内外の旅行者から選ばれる観光地を目指し、長野県の観光への満足度を高める

施策の推進に当たっては、県と市町村との役割分担を基本としながら、宿泊税導入の効果が実感できるよう、
・施策や地域を極力重点化して実施
・地域の独自性を発揮しつつ、県と市町村が一体となり、施策の方向性を共有した上で広域的な視点で観光振興を展開

成果指標

宿泊税活用施策の効果を客観的かつ継続的に評価するため、「旅行者視点」「観光地視点」を踏まえた **成果指標(KGI・KSF・KPI)** を設定。

<KGI>

項目名	基準値	目標値の方向性
観光消費額	1兆47億円(2024年)	増加
住民が感じる観光の地域貢献度	検討中	上昇
総合的な旅行者満足度	検討中	増加

<KPI>

【長野県らしい観光コンテンツの充実】

項目名	基準値	目標値の方向性
観光消費額単価(例・県外・宿泊)	52,082円(2024年)	増加
「体験・アクティビティ」に関する旅行者満足度	検討中	検討中

【観光客の受入環境整備】

項目名	基準値	目標値の方向性
「観光地へのアクセス」に関する旅行者満足度	検討中	検討中
「観光情報の入手」に関する旅行者満足度	検討中	検討中
「観光地の滞在環境」に関する旅行者満足度	検討中	検討中
県内実宿泊者数	15,399千人(2024年)	増加

【観光振興体制の充実】

項目名	基準値	目標値の方向性
先駆的DMO認定数	1(2024年)	増加
新ガイドラインに対応した登録DMO数	該当なし(2025.10.1適用)	増加
観光事業者の平均給与額	検討中	増加

宿泊税を活用して取り組む施策

【宿泊税充当の考え方】

- ・観光振興のための新税という性質を踏まえたもの(新規・拡充の取組、5年で確実に実施する見通しが立っている取組)
- ・宿泊税導入の効果がより発揮されるもの(旅行者が税導入の効果を実感できる取組、観光消費額の増加につながる取組)
- ・県全体の施策の方向性と一致するもの(県の役割として実施すべき取組、先進事例として今後、県内での横展開が見込まれる取組)

【宿泊税を活用して取り組む今後5年間の施策の方向性】

- 県が取り組む施策 …次頁のとおり
- 市町村交付金(一般交付金・重点交付金(テーマ:二次交通、観光DX、DC・インバウンド誘客))
- 徴税経費・広報経費等

宿泊税を活用して今後5年間で取り組む施策について

①長野県らしい観光コンテンツの充実

コンテンツの充実を通じ、旅行者の周遊・長期滞在につなげ、季節や天候を要因とする繁閑差の解消に取り組む。

項目	事業概要	事業別目標値(例)
国内外から多くの人々が繰り返し訪れる、魅力ある自然公園づくり	自然公園の核となるエリアにおいて、園路や遊歩道のバリアフリー化やセンター展示のVR化等、面的に受入環境を整備	・機能向上エリア数
豊かな自然や文化資源を満喫しながら、移動自体をアクティビティとして楽しめる環境の整備	・サイクリングルートの走行環境整備、サイクリスト向け拠点整備支援や情報発信 ・遊歩道や河川・湖沼のアクティビティ拠点の整備等、移動環境の整備支援	・整備エリア(ルート)数
長野県を象徴する新たな観光コンテンツの整備促進	・観光需要の平準化、滞在期間の長期化や満足度向上に資する、長野県の多様な観光資源(自然・文化・食等)活用のためのコンテンツを造成する事業者を支援 ・自然・文化・アクティビティに関するガイドの養成	・新たに造成されたコンテンツ数 ・養成ガイド数

②観光客の受入環境整備

鉄道駅や宿泊施設から主要な観光地に公共交通機関でアクセスできるような二次交通の充実や、旅行者の周遊・滞在の拠点となる宿泊施設等の整備により、誰もがストレスなく旅行できる受入環境整備に取り組む。

項目	事業概要	事業別目標値(例)
長野県を訪れる世界中の旅行者に快適で最適な移動を提供する「長野県観光MaaS」の実装及び観光DXの推進	・交通・観光施設に係る検索・予約・決済を一元化する「長野県観光MaaS」システムの構築・運用 ・MaaSシステムと連携するためのキャッシュレス化・オンライン予約システム導入等DX投資を支援	・長野県観光MaaS導入エリア
地域の魅力に確実にアクセスできるような観光における移動保証の実現	・新規定期観光路線設置及び新規観光バス等ツアー造成の支援 ・主要な交通結節点において、デジタルサイネージ設置等情報提供体制の強化や待合施設の受入環境整備を支援	・新規設置する観光路線数 ・受入環境整備拠点数
周遊・滞在の拠点となる宿泊施設集積地における地域一体となった観光まちづくりの推進	地域一体となった観光まちづくり計画(仮称)に基づき、エリア全体の魅力向上及び上質化に資する取組を支援	・計画に基づき価値向上に取り組むエリア数
周遊・滞在の拠点となる宿泊施設の滞在環境の向上	高付加価値化やユニバーサル化など、観光客の満足度向上等に資する取組を行う宿泊事業者を支援	・県のテーマ設定に基づき滞在環境向上に取り組む施設数

③観光振興体制の充実

長野県の観光地域づくりの司令塔である(一社)長野県観光機構が、観光地経営戦略に基づき、地域DMOや観光協会の体制強化に資する事業に取り組む。

項目	事業概要	事業別目標値(例)
地域の観光地経営の司令塔となる、観光地経営組織(DMO)の機能強化等	・地域DMO・観光団体の組織力強化のため、組織間での人材活用の仕組みづくりや専門研修を実施 ・マーケティングデータを集積し、データに基づく観光施策の推進を支援	・人事交流を行った団体数 ・マーケティングデータ提供件数